

## (일본어)

### <新型コロナウイルス予防接種後のご案内-1>

#### ○ 接種当日

-健康状態の良いときに接種 / -徹底した予診 / -安全な接種

#### ○ 接種後

-接種機関での副反応の観察

#### ○ 新型コロナの予防接種後の注意事項

\*接種後、15~30分の間接種機関に待機し、副反応が起こらないかを観察する。

- 過去に特別なアレルギー反応がなかった場合、接種後15分間の観察

- 過去にアレルギー反応があった場合、必ず30分間の観察

\*帰宅後、最低3時間以上は安静を保ち、副反応が起こらないかを注意深く観察する。

\*接種後、最低3時間は特別な症状が起こらないかに気を配る。

\*接種当日とその翌日には激しい運動や飲酒を避ける。

\*接種当日は入浴を避けた方が良い。

\*接種部位は清潔を保つ。

\*高齢者の場合、予防接種後は一人でいるより他の人と一緒にいるようにし、症状が現れた時に助けてもらうようにする。

新型コロナのワクチン及び予防接種に関する詳細は、[コロナ19予防接種.kr](https://nip.kdca.go.kr) ホームページでご確認ください。

### <新型コロナウイルス予防接種後のご案内-2>

#### ○ 予防接種後の副反応

##### ▶ 予防接種後によく現れる症状

予防接種後に以下のような症状がよく現れることがあります。これは免疫が形成される過程で現れる反応で、ほとんどは2~3日以内になくなります。

- 接種部位の痛み、腫れ、赤くなる / - 発熱、吐き気がする、筋肉痛 / - 疲労感 / - 頭痛

##### ▶ 予防接種後に以下のような症状が現れたら

- 接種部位の腫れや痛みがある場合、清潔な冷たいタオルで患部を冷やすようにしてください。

- 微熱がある場合には水分を十分に摂取し、休むようにしてください。

- 全身の痛みや発熱で不快感がある場合には、解熱・鎮痛剤が役立ちます。

- 接種前に解熱・鎮痛剤を準備し、症状が現れたらすぐに服用してください。解熱・鎮痛剤の服用に制限はありませんが、なるべく抗炎症効果のないアセトアミノフェン成分の医薬品を服用するようにしてください。

##### ▶ 新型コロナ予防接種後、副反応の疑いがある場合

ほとんどは解熱・鎮痛剤の服用により症状が好転するが、2日以上接種部位の腫れ、痛み、赤くなる等の症状が続く場合には、医師の診療を受けてください。

もし、呼吸困難、意識消失、顔の腫れなどを伴う深刻なアレルギー反応(アナフィラキシー等)が現れた場合には、直ちに119番に通報するか最寄りの救急外来を受診してくださるようお願いいたします。

+予防接種後の健康状態の確認 <https://nip.kdca.go.kr>

+予防接種後の副反応の申請 <https://nip.kdca.go.kr>

+予防接種トウミホームページ(<https://nip.kdca.go.kr>)を通して、予防接種後の症状や対処方法についての情報を確認することができます。

<この翻訳はタヌリコールセンター1577-1366で担当しました。>